

わたし

の

~SEALDs 2015~

直曲に

LOOKS LIKE!  
FEEL ME  
WHAT DO I  
DO?

ついで

終わったなら、  
はじめるぞ。



2015年夏、路上で声を上げ続け国会前を群衆で埋め尽くした学生団体「SEALDs」。彼らの激動の夏に密着したドキュメンタリー。





ひとりひとり 孤独に思考し判断しろ

思っていたことをちゃんと伝えたい



自分の子どもの未来のためにやっているという感じ

だれも代表ではないし 逆に言えば全員が代表です



それこそが 不撓の努力です

主権者は 俺たちだ

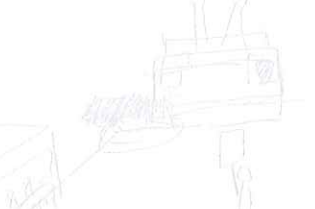


民主主義ってなんだ

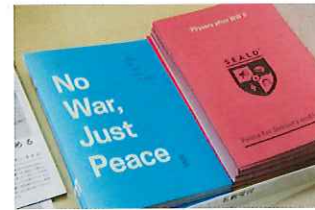


全然論めてないぞ

ついに100年間 戦争をしてこなかったと その祝いの鐘を鳴らしたい



過去から 未来から 生まれくる子どもたちから 私たちが問われています



これをスタンダードにみてる 中学生が大人になったとき どんなことになってるかなと思います

2015年。第二次世界大戦以後、70年間、平和国家として歩んできた日本の安全保障が、大きく変わろうとしていた。安倍晋三首相率いる自民党は、これまでの憲法解釈を180度転換し、集団的自衛権の行使容認を含む新たな安全保障関連法案を国会に提出した。日本国憲法第9条で定められた、戦争放棄に反するこの政府の動きに、世界一政治に無関心といわれた日本

国民、特に若い世代が大きな危機感を持った。東京を中心に立ち上がった、学生団体「SEALDs」(シールズ:Students Emergency Action for Liberal Democracy-s)は、毎週金曜日に国会議事堂前で抗議活動を開始し、その動きは日本全土に広がった。この映画は、数名の若者たちが手探りではじめた社会運動の、半年間の記録である。

監督・撮影・編集・製作: 西原孝至 撮影応援・カメラリスト: 山本大輔 サウンドデザイン: 柳智隆  
 宣伝協力: contrail 配給協力: アップリンク 配給・宣伝: sky-key factory  
 2016年/日本/カラー/165分/16:9/DCP ©2016 sky-key factory, Takashi NISHIHARA  
 about-my-liberty.com facebook.com/about.my.liberty/ @Film\_AML2015

お問合せ/「オールひむかネット」事務局  
 TEL.0985-29-1616

宮崎市 6月1日(水) 宮崎市民プラザ オルブライトホール

都城市 6月2日(木) 都城市総合文化ホール 中ホール

延岡市 6月3日(金) 延岡総合文化センター 小ホール

【入場料】500円 開場/17:00 上映/18:00 ※3日間とも

20160514-07XX